

2014年8月14日辺野古沖は「包圍」された。

戦場いくさばになつた 沖繩は再び

5.23 土より
緊急先行上映!!
刻々と変化する辺野古新基地建設をめぐる情勢を受け、
一日でも早くご覧頂きたく、緊急上映します。
ポレポレ東中野にて
連日16:15~



「標的の村」
三上智恵監督 最新作

音楽:小室等 ナレーション:Cocco

プロデューサー:橋本佳子/木下繁貴 監督:三上智恵
撮影:大久保千津奈 編集:青木孝文 撮影協力:平田守/宜野座盛克/中村健勇 水中撮影:長田勇
監督補:桃原英樹 構成協力:松石泉 題字:書浪人善隆 制作協力:シネマ沖縄
協力:沖縄タイムス社/琉球新報社 製作協力:三上智恵監督・沖縄記録映画を応援する会
製作:DOCUMENTARY JAPAN/東風/三上智恵 配給・宣伝:東風
2015年/日本/DCP・BD/129分/ドキュメンタリー
www.ikusaba.com

戦争のあと

いくさばぬ
うちなみ



うちなーぬうおら しけにかたら

あの『標的の村』から2年——スクリーンに叩きつける、伝えきれない沖縄。

「日本人」が知っている 「基地問題」は 虚像かもしれない。

沖縄で今 何が起きて いるのか？

戦場ぬしみ

いくさばぬとうどうみ
タイトルは、辺野古のゲート前フェンスに掲げられた琉歌の一節に由来しています。
くとうし ちち いくさば とうどう うちなー うむ しけ かた
今年しむ月や 戦場ぬしみ 沖縄ぬ思い 世界に語る
(今年11月の県知事選挙は、私たちのこの闘いに終止符を打つ時だ！ その決意を日本中に、世界中に語ろうじゃないか)

今、辺野古の海を埋め立てて最新のアメリカ軍基地が作られようとしている。巨大な軍港を備え、オスプレイ100機が配備されるそれは、もはや普天間基地の代替施設などではない。

2014年8月14日、大浦湾を防衛局と海上保安庁の大船団が包囲。日本政府は機関砲を装備した大型巡視船まで投入して、建設に抗議するわずか4隻の船と20艇のカヌー隊を制圧した。陸上でもなんとか工事を止めようと市民が座り込みを続ける。基地を作るのは防衛局だが、市民の前に立ちはだかるのは沖縄県警機動隊と民間警備会社。国策に引き裂かれ、直接ぶつかり合うのは県民同士だ。「私を轢き殺してから行きなさい」と工事車両の前に身を投げ出したのは、あの沖縄戦を生き延びた85歳のおばあ。彼女にとって沖縄はずっといくさの島、それを押し付けるのは日本政府だった。

沖縄の怒りは臨界点を越えた。11月の県知事選は保革を

越えた島ぐるみ闘争に発展。「イデオロギーよりアイデンティティ」と新基地建設反対の翁長雄志氏が圧勝、続く衆院選でも民意を叩きつけた。しかし国策は止まらない。海上の抗議活動を屈強な「海猿」たちが排除していく。日々緊張を増す現場で負傷者や逮捕者が出る……。はたして今、沖縄で本当は何が起きているのか？

* * *

本作で三上智恵監督(『標的の村』『海にすわる～辺野古600日間の闘い～』)が描くのは激しい対立だけではない。基地と折り合って生きざるをえなかった地域の人々の思いと来し方。苦難の歴史のなかでも大切に育まれた豊かな文化や暮らし。厳しい闘争の最中でも絶えることのない歌とユーモア。いくさに翻弄され続けた70年に終止符を打ちたいという沖縄の切なる願いを今、世界に問う。



「戦場ぬしみ」応援団募集中!!

映画のチラシ配布やポスター掲示をしていただける(応援団)を募っています。詳しくは「東風(とうふう)」までご連絡ください。
東風 | E-mail: info@tongpoo-films.jp | Tel: 03-5919-1542(平日11時~18時) | Fax: 03-5919-1543

@ikusaba2015

www.facebook.com/ikusaba.movie

5.23 [土] 緊急先行上映!!

当初は、7月の劇場公開を予定しておりましたが、刻一刻と変化する情勢のなかで「一日でも早く多くの人に見てもらいたい」という監督はじめ製作者の強い思いをうけ、劇場・ポレポレ東中野と協議した結果、予定を大きく前倒し、5/23(土)より同館にて緊急先行上映を行うことを決めました。

全国共通特別鑑賞券1,400円(税込)発売中

本上映7月18日(土)より

JR東中野駅西口改札北側出口より徒歩1分
地下鉄大江戸線東中野駅A1出口より徒歩1分

ポレポレ東中野

03(3371)0088 www.mmjp.or.jp/pole2/

連日16:15~



当日一般1,800円 | 大学・専門学校生1,500円 | 高校・中学生1,000円 | シニア1,200円